

一般社団法人 日本計量生物学会
2023 年度事業報告（第 8 期）
2023 年 1 月 1 日～2023 年 12 月 31 日

会長 服部聡
庶務理事 寒水孝司, 田栗正隆

1. 学会の動向

日本計量生物学会は、16 名の理事（2023 年 1 月 1 日時点）、2 名の監事、各種委員会の運営により、2023 年度の活動を終えた。2023 年 12 月 31 日現在の会員の数は 914 名である（国内正会員 492、国内名誉会員 2、国際正会員 282、国際名誉会員 7、学生会員 122、賛助会員 9）。

2. 出版編纂事業

(1) 計量生物学の発行

43 巻 2 号（原著 1、40 周年記念総説 2）（2 月）、44 巻 1 号（原著 2、総説 1、40 周年記念総説 1）（10 月）を発行した。

(2) 会報の発行

141 号（4 月）、142 号（8 月）、143 号（12 月）を発行した。

3. 内外学界交流事業

次の大会、セミナー、講演会を開催した。

(1) 年次大会

日程：4 月 20 日（木）、21 日（金）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom）

現地会場：北海道大学 学術交流会館講堂

チュートリアルセミナー「統計的因果推論の基本と応用」

特別講演「2022 年度学会賞受賞者講演」

特別セッション「オミクスデータ解析：その活用方法・新たな広がり」

参加者 351 名（現地 113 名、オンライン 238 名）

(2) WNAR（北米・カナダ西海岸リージョン）年会（共催）

日程：6 月 18 日（日）～21 日（水）

会場：Hilton Anchorage, Anchorage, Alaska（米国アラスカ州アンカレッジ）

招待セッション「The net benefit / chance of a longer survival」

(3) 統計関連学会連合大会

日程：9月3日（日）～7日（木）（3日はチュートリアルセッションと市民講演会）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom）

現地会場：京都大学吉田キャンパス

日本計量生物学会奨励賞受賞者講演

日本計量生物学会40周年記念シンポジウム：「計量生物学の発展と今後の展開」

参加者総数 延べ1,772名

（チュートリアルセッション参加登録者326名，市民講演会参加者392名（現地195名，オンライン197名），大会参加登録者1,054名）

(4) 計量生物セミナー

日程：12月14日（木），15日（金）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom）

現地会場：中央大学 後楽園キャンパス5号館

テーマ：ベイズ推測と臨床研究への応用

参加者279名（現地43名，オンライン207名，現地・オンライン29名）

(5) 計量生物学講演会

日程：7月31日（月）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom）

現地会場：AP西新宿4F会議室H

テーマ：New SPIRIT and CONSORT extensions for early phase dose-finding clinical trials

（早期用量設定臨床試験のためのSPIRITおよびCONSORTの拡張）

講師：Christina Yap（The Institute of Cancer Research, UK）

参加者122名（現地15名，オンライン107名）

日程：10月11日（水）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom）

現地会場：大阪大学中之島センター セミナー室6E, 6F

テーマ：Bayesian evidence synthesis with applications to combining randomized controlled trials and real world data（Bayes流メタアナリシスとその応用）

講師：Tim Friede（University Medical Center Göttingen）

参加者129名（現地16名，オンライン113名）

4. 会員関係事業

(1) 賞の授与

次の賞を授与した。

学会賞 該当者なし

功労賞 折笠 秀樹（統計数理研究所 / 滋賀大学）

奨励賞 高木 佑実（京都大学）

(2) 理事会

対面（Web）理事会（2月28日，3月15日，4月17日，9月2日，12月3日）とメール理事会（2回）を開催した。

(3) 社員総会

対面（Web）社員総会（3月15日）を開催した。

(4) 会員総会

日程：4月20日（木）

開催形式：ハイブリッド開催（現地・Zoom）

現地会場：北海道大学 学術交流会館講堂

(5) 各種委員会

各種委員会（編集，広報，企画，試験統計家認定）を適宜開催した。

5. 試験統計家認定制度

2022年度責任・実務試験統計家 認定通知・証書授与，公表を行い，2023年度責任・実務試験統計家認定制度を開始した。試験統計家認定制度講習会（10月14日，11月11日（オンライン））を開催した。

6. 国際計量生物学会日本支部としての活動

国際計量生物学会の会報（Biometric Bulletin）にて日本支部の活動を報告した。

7. その他

(1) WNAR（北米・カナダ西海岸リージョン）年会への若手会員の参加に対して奨学金の補助（1件）を行った。

(2) 会費長期滞納者への対応を行った。

(3) 第33回 日本疫学会学術総会・日本疫学会プレセミナー2023「観察疫学研究における交絡変数選択～変数を「選んで調整」することの功罪と Tips～」(2月1日（水）現地会場とオンデマンド開催)を共催した。

以上